



2026年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年9月14日

上場会社名 株式会社笑美面 上場取引所 東
コード番号 9237 URL <https://emimen.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 榎並 将志
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 鎌田 将晴 (TEL) 06-6459-0777
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年10月期第3四半期の連結業績(2025年11月1日～2026年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年10月期第3四半期	1,765	36.2	92	400.5	89	409.6	48	235.3
2025年10月期第3四半期	1,296	—	18	—	17	—	14	—

(注) 包括利益 2026年10月期第3四半期 48百万円(235.3%) 2025年10月期第3四半期 14百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年10月期第3四半期	12.01	11.89
2025年10月期第3四半期	3.56	3.51

(注) 1. 当社グループは、2025年10月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2025年10月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 当社は2025年11月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年10月期第3四半期	2,041	797	38.6
2025年10月期	1,377	813	59.0

(参考) 自己資本 2026年10月期第3四半期 787百万円 2025年10月期 813百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年10月期	—	0.00	—		
2026年10月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年10月期の連結業績予想(2025年11月1日～2026年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,681	43.1	218	90.3	209	79.0	169	88.9	41.73

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は2025年11月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 1社(社名) ケアミックス株式会社

(注) 詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年10月期3Q	4,069,340株	2025年10月期	4,059,080株
2026年10月期3Q	90,121株	2025年10月期	270株
2026年10月期3Q	4,031,062株	2025年10月期3Q	4,051,685株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 当社は2025年11月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(企業結合等関係)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、物価上昇の継続や金融政策の動向、海外経済の不確実性及び地政学的リスクの影響などにより、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの関連する介護及び医療環境につきましては、介護保険法や保険外介護サービスの充実によって要介護者へのサービスは増加し、民間運営による多種多様なシニアホームも増加しています。一方、在宅介護を担う介護家族の介護負担状況は、ビジネスケアラー約318万人（※1）、老老介護約200万人（※2）、ヤングケアラー約31万人（※3）に達するなど、在宅介護を担う介護家族への支援は不十分な状況にあります。また、シニアホームの入居検討においては、適切な情報収集が困難なためにシニアホーム入居に対する誤解等により躊躇や諦めが起こっているケースもあり、介護する側の介護家族においても共倒れのリスクをはらんでおります。

※1 2030年予測 経済産業省「新しい健康社会の実現」（令和5年3月）より抜粋。

※2 65歳以上の要介護認定者数（厚生労働省「介護保険事業状況報告」（令和7年10月分））に、同居介護率及び同居介護内に占める当該割合（厚生労働省「国民生活調査」（令和4年））を乗じ試算。

※3 文部科学省「令和7年学校基本調査」における中学生・高校生の生徒数に、三菱UFJリサーチ&コンサルティング「ヤングケアラーの実態に関する調査報告書」における世話をしている家族がいる率を乗じ試算。

このような環境のもと、当社グループは介護家族の負担を軽減すべく、介護家族が高齢者に対する「心の介護」に専念できるよう「介護家族にとって、シニアホームの利用が『ポジティブ/当たり前』になっている状態」を目指し、コーディネーターによる対面相談「家族会議」を経て最適な入居支援を無料で行う「シニアライフサポートサービス」と、安心して入居できる質の高いシニアホームを増やすため新規開設支援等を行う「シニアホームコンサルティングサービス」の継続的なサービス提供に努めてまいりました。

2026年6月1日には、首都圏を中心にコーディネーター（相談員）によるシニアホームの入居相談・紹介事業（ソーシャルワーク事業）及び看護師等の多様な働き方を活用した保険外サービスの提供並びに医療的ケア児への支援サービス（ワークシェアリング事業）を展開するケアミックス株式会社の全株式を取得し、当社グループに迎えました。これにより、当社グループの専門知識を有するコーディネーターは合計180名規模となり、サービス品質の向上や首都圏における対応力の強化と、医療・介護の現場を支える領域への事業基盤の拡大を進めております。なお、同社については、みなし取得日を2026年7月31日としているため、当第3四半期連結累計期間の連結損益計算書には同社の経営成績を含めておらず、同社の貸借対照表のみを連結しております。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

(シニアライフサポートサービス)

当第3四半期連結累計期間においては、「家族会議実施数」は7,975件（前年同期比22.9%増）、入居成約数である「スマイル数」は4,556件（前年同期比35.6%増）と順調に拡大しております。前期及び当期に採用した入社歴の浅いコーディネーター人材の育成が進み、戦力化した人材の比率が上昇したことに伴い、成約数が積み上がりました。

以上の結果、当セグメントの営業収益は1,486,389千円（前年同期比35.7%増）、セグメント利益は33,554千円（前年同期セグメント損失56,875千円）となりました。

(シニアホームコンサルティングサービス)

当第3四半期連結累計期間においては、コンサルティングによって新規開設に繋がった「新規開設居室数」は728件（前年同期比10.3%減）となりました。シニアホームを長期で一括借り上げ、介護事業者へ転貸する「ケアサンク パートナーリース」につきましては、2025年11月のサービス開始から9ヶ月で6棟・計300室の受注が積み上がっております。多くの収益の計上は来期以降となるものの、運営力を有しながら与信・資金面に課題を持つ介護事業者の新規開設を当社グループとして支援することで、質の高いシニアホームの供給拡大に取り組んでまいります。

以上の結果、当セグメントの営業収益は279,288千円（前年同期比38.9%増）となり、セグメント利益は58,922千円（前年同期比21.8%減）となりました。

当社グループ全体として、当第3四半期連結累計期間の営業収益は1,765,677千円（前年同期比36.2%増）となりました。営業費用は継続的に事業投資を行っており、主に人件費が増加し1,673,131千円（前年同期比30.9%増）となりました。また、営業利益は92,545千円（前年同期比400.5%増）、経常利益は89,396千円（前年同期比409.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は48,417千円（前年同期比235.3%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における資産は2,041,313千円となり、前連結会計年度末比663,502千円（48.2%）増加いたしました。

流動資産は1,342,506千円となり、前連結会計年度末比336,044千円（33.4%）増加いたしました。これは主に、現金及び預金258,291千円の増加、売掛金の増加56,211千円によるものです。

固定資産は698,641千円となり、前連結会計年度末比328,333千円（88.7%）増加いたしました。これは主に、ケアミックス株式会社の連結子会社化に伴うのれん278,808千円の増加によるものです。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債は1,244,092千円となり、前連結会計年度末比679,755千円（120.5%）増加いたしました。

流動負債は958,696千円となり、前連結会計年度末比528,785千円（123.0%）増加いたしました。これは主に、短期借入金の増加450,000千円、1年内返済予定の長期借入金の増加72,924千円があった一方、未払法人税等の減少55,487千円があったことによるものです。

固定負債は285,396千円となり、前連結会計年度末比150,970千円（112.3%）増加いたしました。これは主に、長期借入金の増加136,312千円があった一方、退職給付に係る負債が13,172千円減少したことによるものです。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は797,221千円と前連結会計年度末比16,253千円（2.0%）減少いたしました。これは主に、自己株式の取得124,666千円による減少があった一方、自己株式の処分による増加60,709千円及び親会社株主に帰属する四半期純利益48,417千円の計上による増加があったことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年10月期の業績予想につきましては、2025年12月12日に公表いたしました通期業績予想から変更はありません。なお、当該業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成されており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	657,258	915,550
売掛金	289,899	346,111
その他	59,493	90,837
貸倒引当金	△190	△9,992
流動資産合計	1,006,461	1,342,506
固定資産		
有形固定資産		
有形固定資産	72,857	93,388
無形固定資産		
のれん	—	278,808
ソフトウェア	22,483	17,913
無形固定資産合計	22,483	296,721
投資その他の資産		
関係会社株式	119,931	119,485
繰延税金資産	72,235	86,413
敷金	76,787	82,358
その他	6,373	22,506
貸倒引当金	△360	△2,230
投資その他の資産合計	274,967	308,532
固定資産合計	370,308	698,641
繰延資産	1,041	165
資産合計	1,377,811	2,041,313
負債の部		
流動負債		
短期借入金	—	450,000
1年内返済予定の長期借入金	28,184	101,108
未払金	107,289	131,083
未払費用	84,017	96,320
未払法人税等	56,673	1,185
契約負債	8,376	5,242
返金負債	26,286	27,151
預り金	19,322	47,922
賞与引当金	58,995	39,630
資産除去債務	—	6,259
その他	40,767	52,792
流動負債合計	429,910	958,696
固定負債		
長期借入金	97,347	233,659
繰延税金負債	—	4,279
退職給付に係る負債	13,172	—
資産除去債務	23,906	29,552
長期預り保証金	—	11,537
長期末払金	—	6,367
固定負債合計	134,425	285,396
負債合計	564,336	1,244,092

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	270,440	52,580
資本剰余金	220,440	427,625
利益剰余金	322,891	371,299
自己株式	△297	△64,254
株主資本合計	813,474	787,250
新株予約権	—	9,970
純資産合計	813,474	797,221
負債純資産合計	1,377,811	2,041,313

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年11月1日 至 2026年7月31日)
営業収益		
営業収益	1,296,463	1,765,677
営業費用		
営業費用	1,277,971	1,673,131
営業利益	18,492	92,545
営業外収益		
受取利息	360	612
受取配当金	2	1
その他	610	618
営業外収益合計	972	1,231
営業外費用		
支払利息	1,023	3,059
持分法による投資損失	—	445
株式交付費償却	875	875
その他	24	—
営業外費用合計	1,924	4,380
経常利益	17,540	89,396
特別損失		
減損損失	—	1,907
特別損失合計	—	1,907
税金等調整前四半期純利益	17,540	87,488
法人税、住民税及び事業税	29,346	21,426
法人税等調整額	△26,247	17,645
法人税等合計	3,099	39,071
四半期純利益	14,441	48,417
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,441	48,417

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年11月1日 至 2026年7月31日)
四半期純利益	14,441	48,417
四半期包括利益	14,441	48,417
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,441	48,417

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

四半期連結財務諸表は、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成しています。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記）

当第3四半期連結会計期間において、株式の取得によりケアミックス株式会社を新たに連結子会社としたため、連結の範囲に含めております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

（1）資本金の減少

2026年1月30日開催の第16期定時株主総会の決議に基づき、2026年3月31日付で減資の効力が発生し、資本金の額220,440千円を減少し、その他資本剰余金へ振り替えております。

（2）自己株式の取得

当社は、2026年3月17日の取締役会決議に基づき、自己株式175,000株の取得を行い自己株式が124,666千円増加しております。

（3）自己株式の処分

当社は、2026年5月15日の取締役会決議に基づき、ケアミックス株式会社の株式取得に係る対価の一部として、2026年6月1日付けで自己株式の処分をいたしました。この処分により自己株式が60,709千円減少し、その他資本剰余金が15,836千円減少しております。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が217,860千円減少し、資本剰余金が204,605千円増加、自己株式が63,956千円増加いたしました。

（セグメント情報等の注記）

前第3四半期連結累計期間（自 2024年11月1日 至 2025年7月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		合計
	シニアライフ サポートサービス	シニアホーム コンサルティングサービス	
営業収益			
外部顧客への営業収益	1,095,449	201,014	1,296,463
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	26,322	—	26,322
計	1,121,771	201,014	1,322,785
セグメント利益又は損失（△）	△56,875	75,313	18,437

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	18,437
セグメント間取引消去	54
四半期連結損益計算書の営業利益	18,492

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

【固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【のれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループの報告セグメントは、従来「シニア関連サポート事業」のみの単一セグメントでありましたが、2024年9月に株式会社ケアサルクを設立したことを踏まえ、笑美面で行っている事業を「シニアライフサポートサービス」、ケアサルクで行っている事業を「シニアホームコンサルティングサービス」と定義いたしました。

これにより、単一セグメントから「シニアライフサポートサービス」と「シニアホームコンサルティングサービス」の2区分により開示しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年11月1日 至 2026年7月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	シニアライフ サポートサービス	シニアホーム コンサルティングサービス	
営業収益			
外部顧客への営業収益	1,486,389	279,288	1,765,677
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	45,072	—	45,072
計	1,531,461	279,288	1,810,749
セグメント利益	33,554	58,922	92,477

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	92,477
セグメント間取引消去	68
四半期連結損益計算書の営業利益	92,545

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

【固定資産の減損損失に関する情報】

(単位：千円)

	シニアライフ サポートサービス	シニアホーム コンサルティング サービス	その他	合計
減損損失	1,907	—	—	1,907

【のれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

当第3四半期連結累計期間において、ケアミックス株式会社の株式を取得したことから、同社を連結の範囲に含めたことに伴い、のれんが278,808千円発生しております。なお、報告セグメントへの配分方法については検討中であるため、当第3四半期連結累計期間においては配分しておりません。

【負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年11月1日 至 2026年7月31日)
減価償却費	6,022千円	11,365千円

(企業結合等関係)

(取得による企業結合)

当社は、2026年6月1日付けでケアミックス株式会社(以下、「ケアミックス」)の全株式を取得し、当社の完全子会社といたしました。

1. 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称：ケアミックス株式会社

事業の内容：シニアホーム入居検討者向けマッチングサービス(ソーシャルワーク事業)、看護師等の多様な働き方や副業等を活用した保険外サービスの提供及び医療的ケア児への支援サービス(ワークシェアリング事業)

2. 企業結合の目的

当社は、シニアホームの入居相談・紹介事業を中核に、高齢者ご本人とそのご家族に最適な住まいを提案するサービスを提供してまいりました。ケアミックスは、首都圏を中心に約30名のコーディネーター(相談員)によるシニアホームの入居相談・紹介事業を中核事業の一つとしつつ、看護師等による保険外サービスの提供や医療的ケア児への支援等、介護及び医療現場において多面的なサービスを展開しております。

両社は、「事業活動そのものを通じて社会課題の解決を推進する」という経営思想に強い親和性を有しており、ケアミックスが当社グループに加わることにより、専門知識を有するコーディネーター(相談員)は合計180名規模となり、事業競争力の強化及びサービス品質の向上が期待されます。また、さらに多くのエリアにおけるサービス提供による社会課題解決の推進力増加を目的として、本株式取得を決定いたしました。

3. 企業結合日

2026年6月1日(みなし取得日 2026年7月31日)

4. 企業結合の法的形式

現金及び自己株式を対価とする株式取得

5. 取得した議決権比率

100%

6. 四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

当第3四半期連結会計期間末（2026年7月31日）をみなし取得日として貸借対照表のみを連結しているため、当第3四半期連結損益計算書には被取得企業の経営成績は含まれておりません。

7. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	300,480千円
	自己株式	44,873千円
取得原価		345,353千円

8. 主要な取得関連費用の内訳及び金額

アドバイザリー費用等 1,500千円

9. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれんの額

278,808千円

(2) 発生原因

主に、今後の事業展開により期待される将来の超過収益力であります。

(3) 償却方法及び償却期間

10年間にわたる均等償却

10. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	152,569千円
固定資産	53,210千円
資産合計	205,780千円
流動負債	84,132千円
固定負債	55,102千円
負債合計	139,234千円

(重要な後発事象)

(吸収分割（簡易吸収分割）による事業承継)

当社は、2026年8月18日開催の取締役会において、2026年11月1日を効力発生日として、当社連結子会社であるケアミックス株式会社（以下、「ケアミックス」）のソーシャルワーク事業（以下、「本事業」）を吸収分割（以下、「本会社分割」）により承継することを決定しました。

1. 本会社分割の目的

当社は、「社会課題の解決で世の中に恩返しをする」をミッションに、「高齢者が笑顔で居る未来を堅守する」をビジョンに掲げ、シニアホームその他の高齢者向けの住まいへの入居相談・紹介事業を中核として、高齢者ご本人とご家族に最適な住まいをご提案するサービスを提供してまいりました。

2026年5月15日付「ケアミックス株式会社の株式の取得（完全子会社化）に関するお知らせ」にて公表しております通り、ケアミックスは笑美面グループに参画いたしました。同社は首都圏を中心にコーディネーター（相談員）によるシニアホームの入居相談・紹介事業（本事業）を運営するとともに、看護師等の多様な働き方や副業等を活用した保険外サービスの提供及び医療的ケア児への支援サービスに係る事業（以下、「ワークシェアリング事業」）を展開しております。

本事業は、当社が中核として運営するシニアライフサポート事業と同一の領域にあり、両社を合わせたコーディネーター（相談員）は180名規模となりました。当社グループへの参画後、両社の連携を進める中で、提携先であるシニアホーム運営事業者のネットワーク、入居相談から成約に至るまでの業務プロセス、コーディネーターの育成・配置及び情報システムを一体化して運営することが、サービス品質の向上とサービス提供エリアの拡大に最も有効であるとの判断に至りました。そこで当社は、ケアミックスが運営する本事業を承継し、当社の事業と統合して一体的に運営することといたしました。これにより、次の効果を見込んでおります。

- (1) 提携先ネットワーク及び相談案件の相互活用による、マッチング精度の向上
- (2) 業務プロセス及び情報システムの統一による、業務効率化の推進
- (3) 人員配置の最適化による、サービス提供エリアの拡大及び対応可能件数の増加
- (4) 重複していた管理業務の解消と、意思決定の迅速化

一方、ケアミックスは、本会社分割後、ワークシェアリング事業に経営資源を集中し、看護師等の専門人材を活用したサービスの拡充を図ってまいります。当社グループとして、高齢者向けの住まいの領域と、医療・介護の現場を支える領域のそれぞれにおいて、事業基盤の拡大を進めてまいります。

2. 本会社分割の要旨

(1) 本会社分割の日程

(当社及びケアミックス)

吸収分割契約の取締役会決議日	2026年8月18日（火）
吸収分割契約締結日	同上
吸収分割効力発生日	2026年11月1日（日）

※本会社分割は、当社においては会社法第796条第2項に規定する簡易吸収分割に該当し、ケアミックス株式会社においては会社法第784条第1項に規定する略式吸収分割に該当するため、当社及びケアミックスのいずれにおいても株主総会における承認は不要となります。

(2) 本会社分割の方式

ケアミックスが運営する本事業について、当社を承継会社とし、ケアミックスを分割会社とする吸収分割を行います。

(3) 本会社分割に係る割当の内容

本会社分割は、完全親子会社間にて行われるため、無対価にて実施いたします。

(4) 本会社分割に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

(5) 本会社分割により増資する資本金

本会社分割による資本金の増減はありません。

(6) 承継会社が承継する権利義務

当社は、本会社分割により、ケアミックスの本事業の資産、負債、契約及びそれらに付随する権利義務の内、吸収分割契約に定めるものを承継いたします。

(7) 債務履行の見込み

効力発生日以降における当社が負担すべき債務については、履行の見込みに問題ないと判断しております。

3. 本会社分割の当事会社の概要

	承継会社	分割会社
(1) 名称	株式会社笑美面	ケアミックス株式会社
(2) 所在地	大阪府大阪市西区京町堀一丁目8番33号	東京都町田市中町一丁目4番2号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 榎並 将志	代表取締役 柴田 彰
(4) 事業内容	☐ シニアライフサポート事業 シニアホーム入居検討者向けマッチングサービス ☐ シニアホームコンサルティング事業 シニアホーム運営事業者及び土地オーナー向けのコンサルティング・情報提供サービス（連結子会社を通じて提供）	☐ ソーシャルワーク事業 シニアホーム入居検討者向けマッチングサービス ☐ ワークシェアリング事業 看護師等の多様な働き方や副業等を活用した保険外サービスの提供及び医療的ケア児への支援サービス
(5) 資本金	52,580千円	10,000千円
(6) 設立年月日	2010年9月	2014年6月
(7) 発行済株式数	4,069,340株	750株
(8) 決算期	10月31日	5月31日
(9) 大株主及び持株比率	榎並 将志 40.66% MSIP CLIENT SECURITIES（常任代理人 モルガン・スタンレーMUFG証券株式 会社） 3.49% 金田 喜人 2.93% 野村證券株式会社 2.47% 株式会社FDS 2.29% アクサ生命保険株式会社（常任代理人 ステート・ストリート銀行信託会社） 2.26% 住友生命保険相互会社（常任代理人 株 式会社日本カストディ銀行） 2.26% 米田 幸雄 1.59% 株式会社大星住宅産業 1.43% 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 （信託口T6K157001） 1.39%	当社 100%
(10) 直近事業年度の財政状態及び経営成績		
決算期	2025年10月期（連結）	2025年5月期
純資産	813,474千円	134,902千円
総資産	1,377,811千円	246,668千円
1株当たり純資産	200.42円	179,869.70円
売上高	1,872,987千円	548,905千円
営業利益	114,647千円	1,704千円
経常利益	117,054千円	591千円
(親会社株主に帰属する) 当期純利益	89,670千円	228千円
1株当たり当期純利益	22.12円	304.84円

※ 承継会社の大株主及び持株比率は、2026年4月末時点の状況を記載しています。

4. 承継する事業の概要

(1) 承継する事業の内容

ケアミックスのソーシャルワーク事業

(2) 承継する事業の経営成績

本事業は分割会社の一部であり、事業単位での業績は集計しておりません。

(3) 承継する資産、負債の項目及び金額（概算）

流動資産	1,707千円
固定資産	15,271千円
固定負債	4,261千円

※上記金額は、2026年7月31日現在の貸借対照表の概算値を基礎としており、実際に承継する金額は、本会社分割の効力発生日の前日に確定いたします。

5. 本会社分割後の状況

本会社分割による当社の名称、所在地、代表者の役職・氏名、事業内容、資本金、決算期の変更はありません。

6. 今後の見通し

本会社分割は、当社及び完全子会社間の吸収分割のため、連結業績に与える影響は軽微です。

7. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 2019年1月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日）に基づき、共通支配下の取引等として処理する予定であります。